11月2日 水曜日 1日発行
昭和30年 西暦1955年

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5
第3266号

民・自、依然折合わず
午後も続行 再び民自四者会談
党首問題

[illegible]

【写真左から大野、三木、岸、石井の四氏】

石橋通産相、三木氏と会談

[illegible]

石井、大野両氏協議

[illegible]

懲罰事案の国会法改正 民主党で計画

[illegible]

結論持越し 公務員の期末手当増額問題

政府は一日の閣議で、さきに人事院から勧告のあった公務員期末手当増額問題について協議したが、結論を得ず、さらに各省で資料を整備して検討することになった。

広島に仏領事館

【広島発】来広中のダニエル・レヴィ駐日仏大使は三十一日、中国新聞社を訪ね糸川編集局長と会談したが、そのさい同行のドーマン仏大使館文化部長は『近く広島にフランス領事館を設置する予定である』とつぎのように語った。フランス政府は領事以下三、四名ぐらいの領事館を設けたい。

暫定的欧州安保案
四国外相会議 モロトフ外相提案

[illegible]……長として再開され、まず第三議題『東西間の接触の発展』を先議し……モロトフ・ソ連外相から……問題が討議される際、東西両独の……でモロトフ・ソ外相は再び発言を求め『欧州安全保障問題に関する西欧……』……うな暫定的な欧州安保案を提案した。

モロトフ外相

一、武力攻撃を受けた場合、軍事援助を含む相互援助を供与することを約束する。

一、攻撃国に対しては援助を行わないことを約束する。

一、前記第一、第二項に基づく義務については相互に協議する。

一、相互の合意に基づき加盟国が条約の義務を遂行するのに必要な機関の設置その他の措置を講ずることを約束する。

一、本条約に基づく義務は現在の条約および協定に基づく加盟国の義務に抵触しない。

一、国連憲章による個別的ないし集団的な防衛権はこれにより侵害されない。

一、本条約は暫定的なものであり、より包括的な条約によって変えられるまで有効とする。

なお同外相は『本条約の参加国は米英仏ソの四大国のほか東西両独、西欧同盟加盟国およびワルシャワ条約加盟国とする』とのべた。またモロトフ外相は『この提案は北大西洋条約、西欧同盟およびワルシャワ条約が効力を失い、これら条約に基づく軍事集団が消滅するだろうとの仮定に立つものである』とのべた。

東京のエトランゼ ② デンマーク

マリング・イエンセンさん（技師夫人）

○…三ヵ月前香港で結婚して、その足で日本に来たばかり。だから見るもの聞くもの珍しく、暇があれば銀座に出て買物ばかりしている。夫君はデンマーク人の機械技師。三週間ほど前から生花の勉強を始めたが、生花を通じて東洋的な美しさがだんだん理解出来るという。また一月程前から日本語学校に通っているが、この方は『タイヘン、ムツカシイ』

○…結婚前小学校の先生だっただけに、日本の小学校教育にも相当の関心を示して逆にアレコレ質問されたが『一体に日本人は西洋スタイルになりすぎてますネ。日本独特の長所を発展させるべきだと思います』

家庭では飲んべえ

となかなか辛らつである。日本の娘がヘップバーンにマンボスタイルで得々と銀座を歩いているのも『あんまり感心出来ない。日本の娘さんには着物が一番似合うんじゃないかしら』

○…でも日本人は『ベリー・カインド』とても親切で、非常に優れた国民だとお世辞も忘れない。〃スキヤキ〃〃テンプラ〃は大好きで〃サケ〃も少々たしなむそうだ。家ではちょっとした『飲んべえ』で外出から帰ると、早速ワインをひっかけるという。彼女まだ二十三才。

財界春秋

先般、田崎勇三博士の『死よおごるなかれ』の出版祝賀会の帰途、某悪友に誘われ、京橋裏で新しく店開きしたクラブ『おそめ』に初めて行った。京都の有名な芸者が、バーのマダムに変ったとか、見るからに好感のもてる美人であるが、聞けば毎週火曜から金曜まで飛行機で出張するという商魂たくましい代物らしい。新物食いの文化人が先ず集まり最近は財界人もボツボツ顔を出しているらしい。私の行った夜は、あいにく雨だったが、文字どおり満員盛況で例の菅原通済老が敏子夫人の護衛つきで、文士、批評家連を相手にクダをまいていたのを始め東宝会長を今度の改組でクビになり、東宝芸能学校長に祭りあげられた米本卯吉老、このあいだ自殺した新橋『中川』若女将の最初の旦那（正式の）であった『わかもと』の若尾欣弥老がなにが面白いのか騒いでいた。職業意識（?）を発揮、女給に『ここはあんな老人ばかり来るの?』と聞くと『小説家か芸能関係では老若を問わず流行の方が見えるが、会社関係ではご老人が多くて…』との返事である。なるほど菅原老は終戦後、財界人から文士に転業しながら問題外として、米本、若尾両老は、財界人としては、遠く第一線を離れている。米本老は小林一三老が社長に

当分は悪老連バッコ時代か
三鬼陽之助

カムバックした東宝に、どんな経緯があったにせよ、その上になお相当期間会長に納まっていたこと自体、おかしな存在であった。若尾老にいたっては書画骨董の収集家としてはとにかく、会社経営者としては『わかもと』で失敗、一般大衆にその株式ではばく大な損害をあたえた不届者である。そのくせ若尾一族は破産もせず、書画を楽しみ、茶道の大家として尊敬もされている。なおさらである。

私は、以前から財界人として、さらに経営者としてこの二人をあまり尊敬していないが、しかし考えると、財界の裏街道では、この種の悪老連が、なお相当バッコしている。なにより彼らには隠れた蓄積がある。現金はなくとも、その不動産を売れば死ぬまで待合、高級バーに通いつめても使いきれない筈である。運悪く、ご両人は私に発見されたので俎上に乗せられる訳だが、そこらの一流社長より自腹で遊びが出来る。終戦後の一流社長で、自腹で私にご馳走してくれた人を、不幸にして私は知らないからである。

この一日から遊興飲食税の税率が改正され、五百円以上には公給領収証が発行される。これは、一般会社には大問題である。従来の会社対特定待合、料亭との接待費勘定には、局外者の想像できないカラクリもあって、いわば政党関係の個人献金などを、料亭勘定で賄っていたケースさえある。その他、一部のワンマン社長になると、料亭経営の二号、三号の費用はもちろん、自宅の衛生、女中から、犬のエサまで接待費勘定にしていた。公給領収証が、誠実に履行されると、この種の権道は許されなくなるはずである。

私たちと同じ明治四十年生れの連中が五十名ほどで数年前から『四十年会』なるものをつくり、時々、歓談している。会費は文字どおり自腹である。その証拠に、先般も三十名近く集ったが、だれ一人領収書をもらうものはなかった。実に面白い会で、例の二十の柴田早苗と結婚した日本冶金の森暁社長など、この会が一番たのしいと洩している。しかし自腹であるため、そう再々は開かれない。何れにせよ、会社関係の宴会等は減るであろう。ヌケ道が考え出されるまでは——かくて、当分、菅原、米本、若尾ら公給領収証の要らない悪老連時代になりそうである。

国鉄 経営監督の強化
行管、今週中に正式勧告

川島行政管理庁長官は一日の閣議終了後、三木運輸相と会見、今週中にも運輸大臣宛に国鉄の経営問題に関する正式な勧告を行う旨を通告した。行政管理庁はさきに国鉄の経営に関し、減価償却費の過大、外郭団体の整理の不備などの諸点について監察意見を発表したが、これに対して国鉄側が三十一日反論を加え、行政管理庁と国鉄当局とが真向うから対立状態となっている。しかし川島長官はさきの行管発表による資料は十分な調査に基づいて結論を得たものであるとの自信のもとに国鉄の反論に対する反ばくも含めて今週中に運輸大臣に『国鉄の経営に対する監督の強化』を正式に勧告する。

米空軍参謀総長来日

トワイニング米空軍参謀総長は一日午前八時五十六分羽田着の軍用機で来日した。同参謀総長は約二週間にわたって日本、朝鮮、フィリピンを歴訪、極東空軍情勢を視察する。日本側とは会談の予定はなく、明二日には離日の予定。

【写真は羽田空港に着いたトワイニング米空軍参謀総長（中央）右は出迎えのレムニッツァー米極東軍兼国連軍司令官、左は同キューター極東空軍司令官】

検討の価値あり
米英外相談

【ジュネーヴ三十一日発ロイター=共同】マクミラン英外相は三十一日の四国外相会議で、モロトフ・ソ連外相が提出した暫定的な欧州安全保障条約案について次のように述べた。

ソ連案は慎重に検討したい。一見したところこの提案の幾つかの点は多少の進展への希望をもたせるものだ。しかしドイツ分割の続く限りいかに計画が立派なものでも欧州における真の安全保障はもたらし得ない。

一方この日議長を勤めたダレス米国務長官は『この提案については検討した上で論評したい』と語った。

医学のための国際原子力会議
ソ連開催を提案

【ジュネーヴ三十一日発ロイター=共同】モロトフ・ソ連外相は三十一日の四国外相会議で医学および公衆衛生のための原子力利用にかんする国際会議を明年開くよう提案した。

ダ長官 米ソ航空協定締結提案

【ジュネーヴ三十一日発ロイター=共同】ダレス米国務長官は三十一日の四国外相会議で、つぎのように演説した。

米政府は東欧に旅行する米国市民に旅券の発行を制限した一九五二年の措置を撤廃する。この措置は即時実施する。この結果米国市民は米国と外交関係を結んでいるソ連および東欧諸国に自由に行けることになった。

またダレス長官はこの演説の中で米国とソ連が航空機について双務協定を結ぶことを提案し、『もしこのような協定ができればソ連の商業航空機はニューヨークのアイドルワイルド空港に着陸できるだろうし、また米国の飛行機も同様モスクワ空港に着陸できるだろう』と述べた。

名簿もれ調査
ソ連に要請

【ロンドン三十一日発ロイター=共同】日ソ交渉の高橋全権代理は三十一日ベロワヴォスチコフ駐英ソ連代理大使にたいし日本政府が生存の証拠を持っている在ソ日本人三百八十五名の名簿を手交し、ソ連政府がこれら日本人の所在地と消息を調査するよう要請した。ベロワヴォスチコフ代理大使は高橋全権代理が手交した名簿をただちに本国政府に送り調査を行うことを約束した。なお高橋全権代理は『私は日本政府から同じ種類の名簿をこんどさらに受けとるものと考える』と語った。

（注）この調査を要請された在ソ日本人はさきにソ連側から手交された抑留者名簿にもれていた人達である。

米第七艦隊の新司令官着任

【台北三十一日発UP=共同】新任のS・H・インガーソル米第七艦隊司令官は三十一日台北に到着した。新司令官はプライド中将の後任として就任したものである。

粋人酔筆
忘れ物
高橋掬太郎

先日私は、新橋から乗った桜木町行の国電で鞄を忘れた。それは、音羽のキングレコード文芸部へ行っての帰りだったが、翌日までに作って渡さなければならない歌のことで頭が一杯だったため、電車が私の降りる蒲田に着いたのにも気がつかなかった。ふと、もう品川あたりかなと思いながら、ホームを見ると蒲田なので、あわてて降りたが、階段をのぼったところで、少し手が軽いように思い、ようやく鞄を忘れたことに気がついた。

むろん、電車はもう出てしまっている。すぐホームにある駅員室にかけ込んで届けたが二つ目の鶴見の駅に電話をかけて調べてもらったところ、見当らないという返事なのでちょいと青くなった。その時の電車はかなり混んでおり、腰をかけることが出来ないので鞄を棚の上へのせたのが、失敗だった。しかも、ふだん鞄に金など入れて歩いたことはないのだが、その日に限って、ある必要から所持した二十万円ほどの証券や小切手類を入れてあったので、不安の度が大きかった。係の駅員はなかなか親切で、更に桜木町の駅にきいてみましょうといって電話をかけてくれたがその返事が来るまでの二十分ばかりの間、ほんとうに気が気でなかった。だが、幸にして桜木町の駅で見つけてくれたので、鞄は無事に、私の手にもどった。

私は、生来のぼんやりのせいか、あるいは仕事のことでいつも頭の中がふさがっているためか判らないが、忘れ物の名人で、書斎で原稿を書いている時でも、ペンを動かす時間より、探し物をする時間の方が多い位である。いまもこの原稿を書いているうちに、ライターを見えなくして、一と探しやったところである。それで女房に『ライターなんかひもをつけて首に下げておくといいわ』などとひやかされたのだが、この鞄を忘れて蒲田の駅員室で待っている間に、つぎからつぎと忘れ物を届けて来る人の多いのには、あきれもし感心もし、私ばかりでないということで、意を強くもした。弁当箱を忘れたとか、帽子を忘れたとか、銀座で買って来た子供の洋服を忘れたとか、届けて来る忘れ物の種類は実にいろいろさまざまで、桜木町の駅でも、そのために一人がかかり切りになっていなければならないと、こぼしていた。

電車のなかでの私の忘れ物もしばしばだがなかでの傑作は、戦争の始った翌年あたりの夏だったと思う。新橋の駅前でつまみ菜を一と山五銭で売っていたのを買い、これを持っていた新らしい風呂敷に包んで電車に乗った。その時は腰をかけたが、風呂敷包みは棚の上にのせ、日頃持って歩く物でないので忘れるといけないと思い、冠っていた新しいパナマを、その上にのせた。それを蒲田の駅で降りる時、全部忘れてしまったのである。やはり、すぐ駅員に届けて調べて貰ったが、ついに戻らなかった。たった五銭で買ったつまみ菜を忘れまいとして、パナマ帽のおまけをつけたようなものだが、私は頭が少し大きいので、なかなかピッタリと合う帽子がなく、殊に物資不足のその頃のこととて困った。ところが、それから四、五日たって、ようやく手に入れた代りのパナマを、また赤羽行の電車で、棚の上に置き忘れてしまったのには、われながら、呆れ果てざるを得なかった。

戦後、やはり赤羽行の電車で、鞄を忘れたことがあった。新橋に降りるとすぐ気がついたので届けたところ、田端だったか、王子だったかの駅で見つけてくれた。早速取りに行くと、ホームの駅員室に若い駅員が二、三人いて『よく中を調べて下さい』といって渡してくれたが、開けて見ると、入れておいた外国煙草二個がないのである。それは、近所に遊びに来るアメリカ兵にもらったものだが、所持禁止の品である。うっかり文句をいうと、かえってひどい目にあう危険があるので、あきらめて、『異状ありません』といって引き退ったが、文句をいえない弱身につけ込んで、抜き取ってしまった駅員達のアッパレさには感心した。

市況
もみ合う

大証券の物色買が依然活発に続いて地合は引続き底固いが仕手株の続落歩調にくわれ前日以来の整理売物もかなりでているので、月がわり市況は大商勢のうちに相変らずのもみ合い場面となっている。特定は保険料率引下げを材料に売られた海上が引続きマバラの投物に十円方続落して新値を追い、これにつれてその他も地所七円安などほとんど一～三円方小甘い。雑株は損保株が続いて売られたほか倉庫、砂糖株の一部に小口売物をさそって五円内外小安いが、一方化繊、化学、商事の一部をはじめ日通、十条、東洋紡など一流株が根強い買物にささえられて十円内外高く結局全般は底固いうちにも高下まちまちの商状であった。

▽高い株＝十条紙十一円、日本電線十円、東洋レ八円、日本レ、東洋工七円、帝人、東洋鋼板、日商六円
▽安い株＝東海上十円、日鉄鋼八円、地所七円、東洋埠、横浜糖、吉富薬六円

東京株式仲値
□新株落△配当落
（1日前場終値）

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
				三菱鉱	54	台糖	290
				古河鉱	85	明糖	135
				同和鉱	140	甜菜糖	126
特定銘柄		日立	81	住友炭	63	野田	214
東海上	233	東芝	64	三井山	66	森永	184
郵船	60	三洋電	315	北海炭	69	明菓	185
新三菱	76	松下電	179	日鉄鉱	420	日水産	100
日清紡	266	八電	197	商船	45	昭和産	121
味の素	302	東洋紡	175	三井船	49	東洋醸	93
三越	292	鐘紡	135	西武	367	合同酒	153
三菱地	488	富士紡	125	藤田興	212	三楽	128
平和不	214	大日紡	86	飯野海	60	大阪糖	179
日東化	105	日東紡	63	日銀	一	三井物	153
日産化	91	片倉	33	東銀	54	第一物	147
三菱化	127	東邦レ	124	三井銀	一	白木屋	255
三井化	144	帝麻	36	富士銀	87	高島屋	103
協和醗	136	中織	46	日証金	71	大丸	289
東合成	150	帝人	163	安田火	95	日活	73
三共薬	176	東洋レ	215	大正海	83	松竹	220
信越化	96	三菱レ	132	住友海	77	東宝	一
東電圧	168	倉レ	132	千代田	75	大映	170
昭電工	125	旭化成	400	東電	620	王子紙	255
日本曹	106	山陽パ	145	関西電	660	十条紙	300
旭電化	92	日本パ	122	鋼管	87	本州紙	99
三菱造	96	国策パ	143	日製鋼	73	三菱紙	93
三井造	130	東北パ	124	八幡	64	北越紙	68
三菱重	65	日毛	246	富士鉄	59	日セメ	166
石川重	92	帝石	84	神戸鋼	55	磐城セ	291
精工	141	日石	114	日特鋼	112	小野田	93
東洋ベ	127	昭和石	145	日軽金	179	富士写	162
日立造	59	東燃	140	日金工	73	小西六	109
浦賀	63	三菱石	153	日本粉	132	横浜ゴ	154
日本光	146	大協石	152	日清粉	127	旭硝子	180
キヤノ	167	三井金	126	日本ビ	186	三井不	785
理研光	一	三菱金	116	朝日ビ	198	三井倉	85
三菱電	86	日鉱	111	キリン	216	渋沢倉	80
		住友金	118	宝酒造	129	東洋埠	213

内外抄

外相会議に米ソがそれぞれ東西交流の具体案を出してきた。東西、謹聴。

◇

素人が何をいうかと国鉄、何をこの横着奴ととっちめにかかる行政管理庁、この勝負みもの。

◇

東洋紡の『落綿』から綿紡ストついに全面解決へ。純綿でなかったので弱かったそうな。

◇

原子力平和利用博覧会、読売主催で開幕。原子力をよくリードするものは時代をリードする。

◇

十一月の声とともに冬の定着。ツツレサセセの虫の音に、年末闘争が催促される。

ないがい川柳
吉田札司選

黒帯になってホウ歯も板につき　北　松本いはを
豊作地オールドミスも売り切れる　野田　川鍋一酔
敗将の兵を語れる位置につき　江戸川　比佐緒
悪いとこばかり易者はよく当て　千代田　南渡波
竹の台大人の図画で金をとり　北　稲三平
鉛筆が地図を歩いてハイキング　荒川　凡何羅
急停車バスが結んでくれた恋　江東　湯池貴子

青春無宿 (175)
大林清
下高原健二画

△あらすじ▽◇元伯爵宇田清隆の息子次郎はひょんなことから安南人の国際密輸団の一味にまき込まれた。この一味には日月教幹部の大反野という男も混っていたが、一味の仲間割れから首領が殺されて大反野の罪状がバレそうになり、あわせて次郎が無理に署名させられた一味の誓約が世間に公開されそうになった。これを取戻そうとする大反野と次郎……◇一方次郎の庇護を受けているバーに勤める美貌で純情な娘光代は、バーのマダムの情夫菅野に欺されて旅館の一室で危機に陥るが、突然菅野が心臓まひで倒れて危機を脱した。だが一の魔手は去っても次の魔手がまた襲いかかってくる。光代の間借りしている家の主人木島は光代の困っているのにつけ込んで土地ブローカーの大渕へ光代を売りこんだ。

転落の道（二）

木島は例によってペコペコ頭を下げながら、見えすいた追従まじりに、おそくなったい訳などをするのだったが、光代はなるべく戸口際に立って、木島の傍になるようにしていた。

『こっちへおいで、そんなところで借りて来た猫みたいにしていないで』

大渕は木島の云うことなどいい加減に聞き流して、光代の方へ首をさしのべた。

『さァ光代さん、先生にゆっくり話を聞いてもらいな。あたしはちょっとその間下へ行って用を足しているから』

[illegible]

木島は後ずさって来ると、光代を前へ押し出すようにして、

『じゃァ先生、よろしくお願いします。それから例の銀六アパートの土地の方は是非一つ…』

『うん、まアあとで話そう』

大渕は早く出て行けがしにうなずいた。

光代はふと銀六アパートという言葉を聞きとがめた。それは宇田次郎のいるあのアパートの名である。銀座の土地の売買といっていた木島の話が、それに結びつけて考えられた。

『下におりますから御用があったらお呼び下さいまし』

木島はそう云い残して、ドアの向うへ消えた。

『おかけ』

大渕に好色そうな眼で見すえられ、デスク越しの椅子を示されると、光代は警戒でいっそうからだを硬くした。

『立っていたんじゃ話がしにくい、遠慮しないでかけたらいい』

大渕が立ちあがって来そうにするので、光代はあわててその椅子へかけた。

[illegible]

で、酒を飲むだけが能だそうだね。木島に追い立てを食っているっていうのは本当かね』

光代が答えずにいると大渕は独りでうなずいて、

『あれは因業な男だ、悪い奴のところに部屋を借りたもんだね。追立てられる不安があったんじゃお母さんの病気だってよくなりゃせん。どうだね、わしの別荘が伊東にあるが、しばらくそっちでお母さんに静養させちゃァ。よかったら今日にでもつれてったっていいんだよ。いや先にあんたが下見をするかな』

大渕がそこまで云った時、ドアにノックが聞えた。

『ああ、誰だ』

ドアがあいて、若い男が顔をのぞかせた。

『よろしいですか』

『なんだ』

大渕は急に威厳をつくった顔になった。

『宇田のことなんですが……』

思いがけない名を聞いて、光代は呼吸をとめた。

麻薬に盛られた謀略の手

日本こそ最大の犠牲国

東シナ海を渡る白い武器

国連麻薬監督官ハーリー・アンスリンガー氏は、最近国連に次のような報告を提出している。

――『国際的連絡を通じて、日本の厚生省麻薬管理課は昨年有名な上海からの麻薬密輸者李水伯こと李秀鴻を逮捕することができた。彼は五百ドルのヘロインを所持していたが、彼を逮捕するまでに素晴らしい内偵と監視が行われた。中共から日本への絶えざるヘロインの流出のなかで、第二次大戦後のどの時期よりも多い約十二キロのヘロインが昨年中に押収されている。日本における取締り状態にかんがみ、当局は、この押収量は中共から日本に密輸される総量の一割以上に当るとは考えられない。共産党組織の一員は、北鮮の元山を経由して中共から百二十ドルのヘロインが日本の新潟県に到着したと述べている。これは三十万米ドルに相当するが、その支払方法は、これらのヘロインが共産党員の末端に配布されるまでは支払われないと説明された。麻薬取引の管理に当る中共のボスは、輸出入業者および事業家を装っており、ヘロインの密輸と配布を容易にするため巨額の資本を擁している。共産主義者にとって、日本におけるヘロインの取引は極めて利潤があり、成功を収めるものだったが、同時に陰靡で、致命的に命がけの仕事だった。業者の中で、麻薬ルートを明かにしたものは両耳を斬ず、同市には精製阿片とヘロイン……

凶悪事件の犯人がヒロポン常用者であったり、あたら有望な文士や芸術家がヒロポンのために悲惨な末路を終える例は多い。『ヒロポンだけは止めて下さい！』この切実な呼び掛けは、麻薬の恐しさを認識して初めて叫ばれる言葉である。戦争による長い緊張から開放されて、戦後の頽廃的な風潮につけ込んだ麻薬禍は、漸く大きな社会問題になろうとしている。しかも"白い武器"といわれる麻薬は、いまなお無気味な戦いの触手を伸そうとしているのだ。恐るべき魔の手を払いのけるためには、その麻薬禍のみなもと――どこで、誰によって、何の目的で製造され、どのように持運ばれてくるかを突き止めなければならない。いま麻薬による最も大きな犠牲国は日本である。AFL（米労働総同盟）アジア代表R・L・G・デヴェラル氏は最近その実態を暴露した麻薬白書を発表した。それによると、不正な麻薬取引は政治宣伝活動から根ざしており、資金を獲得すると同時に自由世界の活力を吸い取ろうとする中共の緻密な計画の一部であるというのだ。東シナ海を越えて渡る麻薬に、こうした謀略が含まれているとしたら、日本の犠牲はただ歎かわしいとのみでは済まされない。このデヴェラル報告をもとにして以下"白い武器"の実態を抉り出してみよう。

……り落された。かつての雇用者でさえ口を割ろうとはしなかった。このやり方は、ヘロイン製造工場、中共内部におけるケシ栽培地域の推定面積、阿片売買活動の範囲に関する情報の通路を閉すのに、効果があった。しかもヘロインは空港とともに横浜、神戸、呉、佐世保その他の日本海沿いの小港を通じて、日本に流れ込んでいる』

麻薬ルートの交叉点は香港

日本へ流れ込む『白い武器』は北鮮を経由してくる。また、中共天津、上海から計画的な密輸に頼るものも多い。そのルートをさかのぼると、ポルトガル領澳門（マカオ）タイ国首都バンコックを通じて香港に至る線、バンコックあるいはビルマを通じてマレーに至る線、さらに香港にのびて、香港からフィリピン、沖縄、朝鮮、日本に至る線がある。

これをみても、香港は麻薬ルートの交叉点とよばれるにふさわしい。しかし、実際には香港のこの役割は"心ならずも"という一語につきる。香港官憲は全力をあげて絶滅のための努力を注いでいるが、ぼう大な数にのぼる密輸出入者に対して、とても太刀打ちできないというのが実情である。香港では、ケシは栽培されていない。にも拘らず、同市には精製阿片とヘロインが大量に貯蔵されていることを示す多くの証拠がある。

米戦艦や国連船からも発見

恐らく香港を麻薬根拠地として世界的に有名にした驚くべき物語は同じデヴェラル氏によって暴露された一九五三年九月の、ある事態であろう。『ニュージャージー』『ウイスコンシン』などの米戦艦が約七万五千の海軍々人をのせて休暇のため香港を訪れたときだった。ある士官は米艦の上に中国人商人が文字通りアリのように群りて捕虜のようになっていたと語った。艦長は自室のなかに閉じこめられた。合法的な商人、セールスマンだったが、なかに仮面をかぶった周旋屋や麻薬取引者も少くなかった。これらの米艦船のいくつかから、大量のヘロイン、モルヒネ、阿片が発見されたといわれる。さらに、国連軍艦船を利用して麻薬が日本、沖縄、朝鮮に積出されていると噂されたほどだ。米艦『トレド』の二十四才になる砲手がヘロインの包みを携帯しているのを発見され逮捕された。彼はこの事件までは勤務精励だったがポン引に捕って酒場に行き、さらに魔窟へ足をのばそうとしてNPに発見されたのだった。

だが、いまでは香港の名は有名になり過ぎている。そして麻薬の根拠地は移動しつつある。広東の下流にある珠江河口沖のラプ・サプ・メイ島付近に、日本の漁船がしきりに出現するという報道が行われた。一九五三年に捕ったこれら一部漁船の船員は、長崎県の平戸に麻薬、金の延棒、武器を荷卸し『日本共産党九州支部』ないし『同党広島支部』と宛名のあるピストルの包みを持込んだと自白している。

㊤ベニヤ板の二重壁の裏に細工された隠し場　㊥マナ板の足の中をくり抜いた巧妙な麻薬隠し場所　㊦草原に埋められた麻薬をとりに来た女――望遠レンズでキャッチ（麻薬取締仙台地区事務所提供）

ニュース・ストーリー

ヘソの上にガーゼ、バンソーコーでかくしたり

草履の横へはさんだり

パンツの裏にかくしポケットを作ったり

供花の中にまでカムフラージで密輸をはかる

中共奥地からビルマ、マレーへ

一九四九年から五四年にかけて、どれだけの阿片とヘロインが中共から積出されたか不明だが、このうち明らかな証拠をあげられたもののなかには、華南から二千四百十九キロがタイ、ビルマに運ばれ、二十五の大箱入りが広東から香港へ空輸されたとアンスリンガー氏は報告している。また中共奥地から北ビルマのシャン州を経由してマレーに到着したビルマ船『スエ・フラ・ミン』号から五千七百余ドルの阿片が発見された。この事件に関係した密輸団は、一年間だけで三十トンの中共阿片を取扱ったというから、このルートは恐るべき"白い武器"の補給路といえよう。ついで、二万テールの阿片が広東に貯えられて、日本、東南アジアへの積出しを待っており、このほか杭州とか雲南でも生産された生阿片約一万テールが積出されたと報じている。こうして積出された麻薬は北鮮にたどりつき『これらの手先は片手に黄金を持ち、もう一方の手にヘロインを持っている』黄金は生活費のためのものであり、ヘロインは"心理的"目的のためのものである。

南鮮は日本向密輸の橋頭堡

十八才から二十三才くらいの若い娘が北鮮から南鮮へ下ってくる。『彼女らは政治家の女中として住込み、またある者は淫売婦となった』『彼らは開城や江華の反対側、北鮮側の海岸沿いの小村落を伝って仁川に入り込んでくる』（アンスリンガー報告）わけで、南鮮もまた麻薬の犠牲国であり、いまや日本への橋頭堡となりつつある。

例えばSという日本人が当時麻薬患者であったため、小舟でヘロインを北鮮から日本へ運ぶ仕事を引受けた。最初の航海で手足を縛られ、麻薬を懇願するようになるまで無理にヘロインを注射された。大連に碇泊してヘロイン二箱を積込み長崎の平戸で一人の手先きに渡した。あるいは密輸船鮫島丸（一九〇トン）は、船長室に銃と機関銃をはりめぐらし、上海と岩国の間を往復して稼いだ。警察によれば、彼らは一年間に一千万円の利益を得たといわれる。

複雑な密輸ルート

厚生省麻薬課係長長浜正六氏の話

最近の密輸のルートは、以前のようにビルマやタイから香港に集まり、そこから船や飛行機で日本に来る、といった簡単なものではなくなった。香港から直接日本に来るのもあるが、そのほか沖縄を経て鹿児島あたりに入ったり、朝鮮から九州や瀬戸内海で陸揚げされたり、港でも神戸や横浜のほか東北の釜石あたりも利用されているとに角、日本の麻薬患者約四万人が一日平均〇・二乃至〇・三グラムを消費するだけは、いろいろな方法で輸入されているわけだ。検挙者から最近の特徴をみると、大きな密輸、密売がないかわりに小さなものが増加しているのが目立つ。また朝鮮人が二十五年の一六％から昨年の二三・九％まで検挙者の中に年々増えているのも特徴だ。これはデフレにより一般ブローカーが麻薬の密売に転じたり、もっぱら覚せい剤の密売を行っていた朝鮮人が麻薬に方向を変えたりしたためだと思われる。

續 氣流交番日記　⑪

素足の麗人

中村 獏

彼女は素足で交番にやって来た。で、というわけでもないが私の最初の目に映ったのは、よく伸びた美しい足だった。足からだんだん上に目を移すと、ヒップ、ウエスト、バスト、最後に顔、ことごとくこれすばらしい造作であった。

彼女はこういった。

『お巡りさん、アタクシ、あの靴を盗まれてしまいました。すみません……』

『靴を盗まれましたか、それはそれは……』

私は早速、交番に備えつけの雨天用のゴム長を彼女に貸してやった。あいにく雲一つない上天気だが、素足よりもましだと思う。

さてそれから、美しい彼女をそばの椅子に腰掛けさせて『被害届』の書類を作成する。

『御住所は？』

『S区M町××番地……』

『お名前は？ お年は？ お職業は？』

みんな"お"の字をつけて、私は、ていねいに質問する。これは余計な質問ではなく『被害届』の書類にはちゃんと、そういうことを記入する欄があるのだ――これは誤解されないために説明しておこう。

『盗られた場所はどこでしょう？』

『〇〇映画劇場です』

『は？ すると、あなたは靴を履いていて盗られたんですか』

私は早合点して、妙な質問をした。いくらボンヤリでも、たとえ居眠りをしていても、まさか履いている靴は盗られまい。

『ははあ、なるほど』

どうも行儀が悪いが私にもこういう経験はあるから彼女の気持はわからないではない。列車の中で靴を脱ぐ、アレと同じだ。

『で、全然気がつきませんでしたか？』

『はあ…』

これも愚問であった。気がついていれば盗られる筈がない。

『は、はあ、それが……』

彼女はポーッと頬を染めた。

『それが？』

『はい、脱いで、あの靴は下に置き、アタクシ、前の座席に足をかけてあの、いたんでございます足が疲れるものですから……』

『それにしても、すばしこい泥棒ですねえ』

『ほんとに、驚きましたわ』

私も驚いた。鼠みたいなやつだ。彼女のこの美しい足の下から、靴を失敬した泥棒、何という贅沢なやつだ！

『ええと、それから、何文のどんな靴でしょうか？』

『九文のハイヒール、色はアメ色です』

『なるほどなるほど』

私はききながらそれぞれ書類に記入する。

『失礼ですがお値段は？』

『はあ、五百円…です。月賦でまだ一回分しか払っておりません』

『いや、その場合には約束の金額の全部をいって下さい』

どうも世話のやける靴である。任務とはいいながら美人の彼女に恥をかかせてしまって私は悪いと思った。もっとも月賦位い恥でもなんでもないが――。

書類ができ上ると、彼女に署名捺印させてそれで終り、最後に参考までに私が『どんな映画をやっていましたか？』と尋ねると、何とそれが、『風と共に去りぬ――』だった。（え・永田力）

モダン歳人記

官能美の白秋

昭和十七年十一月二日、生れながらの詩人北原白秋が五十七才で死んだ。彼は九州柳河に生れ、初期の『邪宗門』『思い出』などから浪漫的で象徴的な詩風をもち、更に異国情緒に官能的な幻想を加えて詩作してきた。恐らく日本語は詩として彼によって最もよく生かされたのだろう。彼の詩や童謡は山田耕筰氏により歌曲化され、まるで昔からある民謡のように今では歌われている。

彼の生活はいかにも詩人らしい自由な、酒と女と自然を愛する童心に満ち、そのために姦通の汚名を着せられるようなこともあった。大正三年、雑誌『屋上庭園』にのせた『おかる勘平』は当時発禁になったもので『抱すくめられた時、昼間の塩田が青く光り、白い芹の花の神経が、鋭くなって真蒼に凋れた。顫えていた男の内股と吸わせた唇と、別れた日には男の白い手に煙硝のしめりが沁み込んでいた。駕にのる前まで私はしみじみと新しい野菜を切ってゐた……』のあたりがいけなかったらしい。随筆『プレップ・トリップ』で馬の交尾を描いた大文章も名高い。（鮭）

あすの運勢　十一月二日　高島象山

▲一月生―物を気にして事を避け物を嫌い忌憚に流れて失敗を招く ▲二月生―上下和を欠き内外落ちつかず自ら失敗失望を招きやすい ▲三月生―大勢に順応して技倆を発揮すれば目的叶う私欲は損の元 ▲四月生―何事も辛苦困難ありてはかどらずと雖も辛抱し一貫せよ ▲五月生―何事も愉快に活動し安楽にして多幸なり世話事は損あり ▲六月生―稼業大事と保守的に努力すれば順調に進み幸福あるなり ▲七月生―不意の出来事で神経を悩むことあり病気不和けがを注意 ▲八月生―何事も順調に進展し上位長者の引立あり交渉有利旅行吉 ▲九月生―気運高潮して利達栄昌あり就職転業大吉移転造作もよし ▲十月生―物事の秩序乱れ易く廃頽し易い心引きしめ慎重に行う可 ▲十一月生―他人の反感を蒙り或は事の邪魔を受け易い警戒すべし ▲十二月生―旺盛なる運気に恵まれて思う事叶う開業移転結婚大吉

風流世界譚　……（アメリカ）……

このところ、アメリカのプンだね？』係官は何番目かのロレス流行は拳闘、野球をし妻ローザにききます。『もちのぐものがあり、女子供に至ろんですわ』ローザは当然だるまで凄絶な試合に興奮してといわんばかりにうなずきます。その矢先ユタ州ソルトレーク・シティに住む四十九オのルイス・ケルシュ君細、君を五人も持っていたのはけしからんと警察にあげられました。ケルシュ君は五人の妻に三十一人の子供を生ましたという剛の者。取調べの係官も呆れるばかりです。

『で、あなたは、ケルシュが何夫人で？』というと『むろんケルシュですよ。私たちダッグ・チームをつくってかかっても、ケルシュったら平気なんですもの、その強さったらないんです。せんわ、なんとかして相手をねじ伏せてやりたいと思ってました？』『平気じゃありませんね』『よく平気でおられます』『そうでしょうとも。で、もっとも手ごわい相手ははかに四人もワイフを持っていたことを承知してたというら無類ですわ』

★団体アベック遊覧バス行楽　★愛読者サービス・内外タイムス社

箱根一泊旅行抽選券

1枚当ればお2人で・一切無料　1500名様をご招待

氏名　住所

【送り先】中央区銀座3の5　内外タイムス社（特別旅行係）と朱書、開封郵送の事（1人何枚でも可）月3回抽選、旅行日の10日前に当選者氏名発表

東海毒婦伝　青とかげ（116）

野沢純　土端一美画

【主要人物】◇おりう―本篇の中心人物。江戸の分限者尾張屋の美貌な一人娘。没落による零落の急変から、徐々に毒婦の姿と変貌してゆく◇お直―尾張屋の年増後妻すでにして多淫な毒婦。店の番頭、役者、浪士と次々に男の肌をわたりあるいている◇早瀬主水―娘おりうが意中の美男。水戸を脱藩して行方知れず、追っておりうは旅に出る◇与次郎―アダ名を（ちょろけん）お直の甥で料亭の道楽息子◇西尾万兵衛―老獪な手段で尾張屋をつぶした上に、娘おりうの美貌な肌をも狙っている◇抜綱源十郎―インチキ不遇浪士。尾張屋から奪った巨万の金で堂々たる屋敷を構え軍学指南の看板をかかげ、その実ナイガイ賭博の元締格◇お幾―おりうの乳母。今は三島にひっそくしている忠義一徹、主おもいの老女◇豊吉―旧尾張の手代。心ひそかにおりうに惚れて、主家没落後も、犬の如く仕えているが、旅の道中おりうの姿を見失う。

江戸の八巷（九）

浅草駒形堂は馬頭観世音の石を背にして天神ヒゲをはやした馬の顔ほど長い男が、日ざしに大きなアクビをしている。

すぐ目の前の台の上には、算木、筮竹（ぜいちく）横（よく）を並べて、そのかたわらには天眼鏡。

手拭いほどの幅にしるした白布の、うすよごれた目印しを見ると（矢せ物、金談、走り人。その他人事百般鑑定）とあり、端に大きく、（黙って座ればピタリと当る）台の上の箱提灯には、自我流の達筆をふるって、（陰陽堂濁龍子）――いうまでもない、大道易者の看板である。

時刻のかげんか、日和のせいか、客がまるっきりないとみえて、さっきから、たてつづけにアクビばかりしている。

ひまな代書屋みたいである。ひまなればこそ、かかる時の用意とて、あらかじめ台の上には、読みさしの冊子がひろげてある。といって、別に易断の書ではないらしい。分厚な黄表紙本で、標題に誌して曰く、（妖説延命院事歴）

もっともらしい題名だが、その実中味はすこぶる怪しげな、色坊主の行状記なのだ。延命院日当が御殿女中をまるめこみ、女悦奇妙丸とやらいう媚薬混入の酒をのませて、本堂裏は二十三夜さまの地下室で、これよりいよいよ、怪しき所業に及ぼうとするくだり。

なにさま昼ひなか、明るい太陽の下ではいささかばかり、はばかられるような場面を読みさして、だしぬけに出たクシャミと一緒についでながら何度目かのアクビをした時、

『見て頂けますか？』

目の前に、やさしい女の声がした。

いちいちきいている。『いえ、もう少し――半月以上になります』

『ふうむ――』

しさいらしく首をひねって、やがて手にした筮竹の束。さらさらと揉んで拝んで、バチバチバチリ！ とさばいておいて『なるほど――』

机上の冊子をパラリとめくり、『艮下巽上（こんかそんじょう）』と出おった。ひらけば即ち風山漸（ふうさんぜん）ぜんは即ち、女嫁ぐに吉なり。ゆいて功有り。妻はみて子は育たずーおっと、これはしたり違ったわい』

あわてて訂正。再びやり直し、『出た出た。出ましたぞ。水天需（すいてんじゅ）と卦が出た。需は即ち待つ心――ははあん、そなたは心のうちに、誰かを捜し求めておられるな。しかも美男の男であろう？ ほう当った？』

お高祖の中の女の顔に、さっと一抹血いろがさしたのを見てとると、易者の方では、まぐれなりにも当ったことに、却って自分でビックリしている。

女は――おりうであったのだ。

見ると、お高祖頭巾をかぶったまだうら若い女である。

『お出でなされ。見て進ぜよう。失せ物、金談、走り人、その他百般なァんでも見て進ぜる。天地陰陽、爻を合せて、これ即ち八卦と申すが、何をお尋ねじゃな？』

黙って座れば、ピタリと当ると看板でいっていながら、早速自分の方から訊いている。

『あの……走り人なのでございますが』

『ほう、走り人。男かの？ それとも女かの？』

『男でございます』

『いつ頃から、いなくなりましたな？』

『つい近頃です』

『近頃――というと？ 二、三日前か、それとも四、五日かの？』

パッカス共の憩いの酒場　新橋・オカメ

こんな時は雛忠を　旧交暖める酒と鳥

青春手帳　アベックに向く神田と渋谷のパール

内外タイムス
(第三種郵便物認可)
(第3266号)
昭和30年11月2日 (1日発行) (水曜日)

麻薬に盛られた謀略の手
日本こそ最大の犠牲国

国連麻薬監督官ハーリー・アンスリンガー氏は、最近国連にあてて次のような報告を提出している。

「国際的連絡を通して、日本の厚生省麻薬取締課は昨年有名な上海からの麻薬密輸者李永伯こと李秀鴻を逮捕することができた。彼は五百グラムのヘロインを所持していたが、彼を逮捕するまでに麻薬らしい内偵と監視が行われた。中共から日本への密輸されるヘロインの流れのなかで、第二次大戦後のどの時期よりも多い約十二キロのヘロインが昨年中に押収されている。日本における取締の状態じかんがみ、当局は、この押収量は中共から日本に密輸される総量の一割以上に当るとは考えられない。共産党組織の一員は、北鮮の元山を経由して中共から百二十グラムのヘロインが日本の新潟県に到着したと述べている。これは三十万ドルがに相当するが、その支払方法は、これらのヘロインが共産党員の末端に配布されるまでは支払われないと説明された。麻薬取引の管理に当る中共のボスは、輸出入業者および事業家を装っており、ヘロインの密輸と配布を容易にするため巨額の資本を擁している。共産主義者にとって、日本におけるヘロインの取引は極めて利潤があり、成功を収めるものだったが、同時に陰謀で、致命的な命がけの仕事だった。業者の中で、麻薬ルートを明かにしたのは面目を新

中共奥地からビルマ、マレーへ

麻薬ルートの交叉点は香港

米戦艦や国連船からも発見

南鮮は日本向密輸の橋頭堡

複雑な密輸ルート

ニュース・ストーリー
東シナ海を渡る白い武器

続 交番日記
素足の麗人

中村 獏

モダン歳人記

江戸の八巷

青春手帖
アベックに向く神田と渋谷のバール

こんな時は雑忘を旧交暖める酒と鳥

東海毒婦伝
青とかげ
土端一美 画 野沢純 (116)

キャバレーの特売場！
和製ロロブリジーダ 時子さん
ビール220円・カバーチャージ150円・チップ200円
キャバレー 浅草松屋上 グランド浅草

世紀の恋ご破算

マ王女結婚を断念・声明を発表

義務をすべてに優先 自分自身で選んだ道

【ロンドン三十一日発ロイター＝共同】マーガレット王女は三十一日クラレンス・ハウスで新聞記者団と会見、御自身の口からタウンゼント空軍大佐と結婚しない旨を発表された。マ王女は記者団にたいする声明の中で『私はピーター・タウンゼント大佐と結婚しないと決定したことを明らかにしたいと思います。この決定は私自身が一人で下したものです』と述べられた。

【写真はマ王女と夕大佐】

私の決意、大佐のお蔭 声明詳報

【ロンドン三十一日発ロイター＝共同】マーガレット王女の声明はつぎのとおり。

私はタウンゼント大佐と結婚しないと決心したことを明らかにしたいと思います。私は王位継承の権利を放棄すれば結婚することもできたかもしれないことを知っています。しかしキリスト教による結婚は解消することができないものであるとの教会の教えを守るとともに英連邦にたいする義務を知って私はこれらの義務をすべてに優先させることに決心しました。私は全く一人で決心したのであり、こう決心するに当ってはタウンゼント大佐のたゆまない支持と献身とにより励ましを受けました。私は私の幸福をたえず祈って下さった人々に深く感謝します。

夕大佐と懇談後発表

【ロンドン三十一日発UP＝共同】タウンゼント大佐は三十一日英皇太后邸のクラレンス・ハウスにマーガレット王女を訪問、約二時間十五分後に同邸を辞去した。タウンゼント大佐がクラレンス・ハウスを去ると同時にロンドンの新聞記者が同邸に招集され、王女の結婚断念が発表された。

夕大佐 今週中に帰任

【ロンドン三十一日発UP＝共同】マーガレット王女との恋に敗れたタウンゼント大佐は今週中に任地のブリュッセルにもどることになった。大佐はベルギー駐在大使館付空軍武官の職にあるが、さる十月十三日から休暇をとってロンドンにきていたもの。休暇は七日に切れるので大佐はおそらく今週中に海峡をさびしく渡って再びブリュッセルに帰任することになるだろう。

王室、教会が強く反対

マーガレット王女はタウンゼント大佐との結婚断念の理由として教会と英連邦にたいする義務を指摘され、この決定は御自身の決意によるものであると強調されている。しかしタウンゼント大佐は過去において不貞を理由に妻を離婚した経歴の持主で、英国の教会は離婚者の再婚を禁じていることからマ王女の結婚に強硬に反対、一方英王室もマ王女が平民のタウンゼント大佐と結婚されれば王位継承権を放棄せねばならず、またタウンゼント大佐の過去の経歴から二人の結婚に反対したと伝えられる。このようにマーガレット王女が教会と王室の反対から結婚を断念されたことは争えず、マ王女はかくて悲劇の王女となられたわけである。

二人で重ねた石塚

夕大佐の離婚後 燃え上ったロマンス

【ロンドン三十一日発AP＝共同】マ王女と悲恋に終ったタウンゼント大佐はいまうち沈んでいる。そこで王女と夕大佐のロマンスをみてみよう――二人は第二次大戦後職務上また趣味の上でしばしば行を共にした。王女も夕大佐も飛行機や乗馬が好きだった。時に例年八、九月に英王室がバルモラル城で過す『スコットランド休暇』にはいっしょにいる機会が多かった。そこでの生活は非公式であり、侍従としての仕事も少なく、時々遠乗りにも出かけた。

夕大佐の妻ローズマリーはめったにバルモラルに行かず、家に留ることが多く、結婚後十一年の一九五二年に彼は輸出商ジョン・アドルフ・ド・ラズロ氏と妻の行動を不貞として妻を離別した。このためローズマリーは離婚後ラズロ氏と結婚している。離婚後数ヵ月、彼とマーガレット王女は一緒にいることが多くなった。――劇場や舞踏会で、ナイトクラブや遠乗りで――ようやく人のうわさがうるさくなった。バルモラル城でのある日、二人は城を見下す丘の頂上に馬で登った。二人は馬からおりた。間もなくマーガレット王女は石塚を築くために石を一つ取った。タウンゼントが二つ目の石をその上に重ねた。その日から二人は丘にのぼれば必ずその石塚の石をふやしていった。

英国では石塚はある人ある出来ごと、結婚とかロマンスなどを記念するものである。この二人の石塚は三尺もの高さになった。一九五三年初夏、エリザベス女王の戴冠式直後にこの二人の恋物語が米国の新聞にすっぱぬかれた。英国の新聞の幾つかもこれを取りあげた。間もなくマーガレット王女はアフリカ訪問の旅に出られた。一方タウンゼントは王女とのウワサのためロンドンからブリュッセルに追われ、これをきいたマーガレット王女は部屋にひきこもり二日間も出て来なかった。

いま英国民の多数は悲恋のタウンゼント大佐に同情を寄せている。しかし王女との結婚について将来幸福をもたらすかの質問についてはみな頭をひねった。少くとも英国内では『困ったことだ』という点では一致しているところにこんどのロマンスの悲劇は秘められていたのだ。

立入り阻まれ話合い 砂川

測量隊 護衛なしで立往生

【砂川発】米軍立川基地拡張に伴う都下砂川町の立入り調査は総理大臣の収用認定で新段階を迎え、一日、午前九時東京調達局秋山不動産副長指揮の測量隊および立会人の都外務室参事山田良太郎氏ら計二十三名は警官隊の護衛なしに五日市街道から砂川町に入った。これにたいし地元側はあくまで『測量阻止』の決意をかため、およそ百名がスクラムを組んで測量隊の侵入を阻み午前中の測量は不能となった。

測量隊は一時引揚げようとしたが山花、中村両社会党代議士、塩谷総評副議長らが仲に入り話し合いたいと迫った。しかし測量隊は上司に相談するといって同十一時二十五分立川事務所に引き揚げた。午後は同事務所に待機中の重野局次長が現場に出張引続き両者の話し合いを続けている。

五番地区入口で地元民の包囲にあって阻止された測量隊員

化学工場で爆発 志村

作業中の工員五名重傷

一日午前十一時半ごろ板橋区志村長後町一の一九東京合成化学志村工場（責任者石川義乾氏）の薬品製造工場が突然爆発、同工場の屋根十坪を吹き飛ばし、一部を焼いて同十一時四十分ごろ鎮火した。このため工員中里光徳さん（二五）は全身に火傷を負ってひん死の重傷、楠利雄さん（三〇）佐藤昭さん（二七）江川徳太郎さん（二五）久保井俊夫さん（二二）の五名はそれぞれ手足などに全治十日から二週間の火傷を負い近くの竹川病院に収容された。

志村署の調べでは同工場はビニールの漂白剤を製造している工場で同時刻ごろ漂白剤を製造中薬品のアセトンに引火、過酸化ベンゾールが爆発したもの。

密航資金欲しさ

杉並の強盗 更に不良三少年挙る

さる二十八日杉並区阿佐ケ谷三の五二八会社員猪熊丈夫さん妻リツさん（二五）を刺して麻布署に自首した港区麻布新網町一日大二高二年生N（一七）を同署で調べていたが、共犯の北区上十条二京華高一年T（一六）同区中十条二日大二高二年S（一七）豊島区高松町二日大二高二年M（一七）の三少年を一日までに検挙、調べでは四少年は『ハワイへ密航するための密航資金欲しさに強盗を働こうとした』と自供した。四名はいずれも良家の次男、三男でハワイへ密航して一旗あげようと共謀、強盗するには妾の家がよいと日ごろ学校の往き帰りに目ぼしをつけた猪熊丈夫さん宅を妾宅と間違えて押入ろうとしたもので、MとTは見張、SとNが玄関の呼鈴を押して『主人に頼まれて来た』と欺して侵入したが妻リツさんに騒がれたのでNがリツさんに飛び出しナイフで全治二週間の傷を負わせて逃走した。四名は札つきの不良で『妾の家は主人がくるのは夜だろう、宵のうちに狙ってやろう』と計画をたてていた。

中学生が団長

少年窃盗団ご用

浅草署では一日朝までに中学一年生を団長とし、小学五年生五人を団員とする自称少年探偵団一味六名を窃盗の疑いで検挙、補導した。江東区深川新大橋一の五中学一年A（一三）同町三の一八小学五年B（一二）同町二の一一同C（一二）D（一二）E（一二）同常盤町同F（一二）の六名で、Aは本年夏ごろBらを手下に深川少年探偵団を組織、探偵本や学用品、オモチャ、小鳥などほしさにさる九月から浅草松屋を根城に窃盗を働いていたもので、二十九日午後四時ごろ松屋三階文房具売場からD、E、Fを見張りに立て、Aら三名が本を見るふりをして探偵本、鉛筆など六点六百円相当を盗んだほか、三十件約一万五千円を盗んでいた。少年らの家庭はいずれも中流以下で親は教育に関心がなく放任されていた。

共同通信十周年記念式

社団法人共同通信社（専務理事松方三郎氏）の創立十周年記念式典が一日午前九時から千代田区日比谷市政会館内同社編集局で行われた。

ミナト・ヨコハマ Yライン

チャイナ・タウン⑧

文 北林透馬　え 森 比呂志

マンボにもって来い

小説に数々の好材料

中国人諸君は『中華街』というが、ヨコハマの人間は昔から『南京町』と呼んでいる。事実この町には北方系の中国人は少く、広東出身の南方中国人が大部分で、殊に国民党政府は南京にあったんだから、『南京政府支持者の街』という意味で、ハッキリ『南京町』の名を復活させたほうが好いんじゃないか。と、これはまあ僕だけの考えだが。

『中華料理』なんて営業もアイマイでいかん。ちゃんと『広東料理』とか『北京料理』とか『四川料理』とか『台湾料理』とかハッキリ責任をもって貰いたいと思うんだが、この街で『中華料理』の看板を出している店があるんだから恐れいる。

もっとも、お客のほうも、満州の庶民的家庭食物たる『餃子』なんてシロモノを、堂々と『広東料理』を看板にしている一流料理屋へ来て注文するバカもあるそうだから、仕方がないかも知れないが。

そんな具合で、北京も広東も区別のつかない日本人がふえてはこの料理屋がどんなに美味いものを食わしても無駄みたいなものかも知れないが、東京の『中華料理』が繁昌するほどにはハマの『広東料理』が景気の好くないことは事実のようだ。

景気の好いのはハマとキャバレー。むろん、お客はアチラさんばかりで『チャイナ・タウン』といえば、これらのバアとキャバレーのエリヤを意味する。ハワイ料理とフラダンスで売出した『ハワイヤン・ルーム』も、思ったほどはハワイ趣味が受けなかったらしく、近ごろは『スポーツ』と名をかえて普通のキャバレーになってしまったのは惜しい。二階にヌード・スタジオのある『ブルウ・ガーデニア』ジェラルミン張りの『ゴールド・スター』以下約三百軒のバアがあって、日曜ともなれば、朝っぱらから兵隊を相手に派手にやっとる。

むかしむかし（どうも昔の話をしたがるのはトシヨリの悪いクセですな）このチャイナ・タウンには『インターナショナル』というキャバレーがあった。焼けた中国領事館の前のところで、チェコ生れのボヘミアンの夫婦がやっていたことをオールド・ボーイならご存じだろう。マルーシャという美人がいましてね。大仏先生が幾度も小説のモデルに使った。今は小生の古い友達の奥さんになって、すっかりふとってしまった。――いや何も大仏先生を引合いに出すことはない。小生も、だいぶここで原稿料を稼がして貰ったし、北村の小松チャンも二、三度用いとる。

何しろ酒場でダンスを踊っちゃいかん、という馬鹿々々しい規則のあった頃で、（だいたい規則なんてものはみんな馬鹿馬鹿しいにきまっとるが）飲んで踊るにはナンキンマチまで来るより仕方がなかったし、クリスマスなんぞには、マダムがハンガリア風にドレスアップして踊ってみせたりしてくれて、いや楽しきもんでしたな。

前の角にあった『エデルワイス』というのは、亡くなった新居格先生ごひいきのキスリング觸子の店で、これもみんなが小説に用いましたね。

まあ、とても『小説』になるようなシャれた雰囲気はないが、マンボ・スタイルのオンナのコをつかまえて、ドタバタやるには、今のチャイナ・タウンは実にピッタリしとることは事実である。

秋の名残り

大菊、中菊、一文字菊など一面に咲きほこって、ふくいくの香りが深みゆく秋の名残りを告げるかのよう。きょう一日から新宿御苑の菊花が一般に公開された。午前中までに約二千人が入苑し菊の花壇は人垣をつくり遠足の子供たちも『菊がキレイに並んでいるなあー』と歓声をあげていた。なお十五日まで開かれる。

【写真は新宿御苑の菊花】

都宝くじ当選番号	
◇1等（300万円）	1組の147805
◇2等（100万円）	4組の100606
	4組の146472
◇3等（50万円）	4組の117989
	1組の158036
	2組の178975
◇残念賞（5千円）	1、2、3等の組ちがい同番号
◇4等（30万円）	166509
◇5等（10万円）	113360
	122748
	124578
◇6等（1万円）下4桁	2146　9452
◇7等（1千円）下3桁	027　438
◇8等（百円）下2桁	70　77
◇9等（50円）下1桁	1　3　4

老人黒コゲ怪死 葛飾

一日午前四時ごろ葛飾区上平井町二五四七クリーニング商間中一雄さん（三七）方階下六畳間に病気で寝ていた父親勘二郎さん（六七）が布団の中で黒こげになっているのを二階に寝ていた一雄さん夫婦が発見日高病院に収容したが同六時五十五分ごろ死亡した。調べでは老衰をヒカンしてふとんに火をつけ自殺したものらしい。なお死因に不審な点があるので調べている。

独眼灯

〇…これは笑えぬ狭き門への悲劇――一日午前零時半ごろ世田谷区下代田二六二、一ツ橋大学四年生原田安蔵君（二二）が自宅で睡眠中死んでいるのを家人が発見北沢署に届出た。同署で調べたところ原田君は某会社の入社試験を間近かにして徹夜の勉強がたたったものとわかった。

〇…この夜入社試験のことが気になって眠られず、同君はアドルムを飲んでおり量を間違って多くしたため悲劇をうんだ。枕元には入社試験問題集が置かれてあったのも哀れであり係官も暗い気持におおわれた。

◇お断り　連載マンガ『エムさん』本日紙面の都合により休載いたします。

田町駅前の火事

一日朝七時二十分ごろ港区芝田町二の一八国電田町駅前マーケット内、村正パチンコ店（経営者安藤正雄）方二階から出火、同店と両隣りの中華料理店横川喜代志さん方と牛肉屋の鈴木源さん方の木造モルタル二階建て計三むね三十坪を全半焼

あすのスポーツ

△国体　第四日（神奈川県下）△野球　駒対学習院（東生）△六大学秋式野球　日対中（十一時半、神宮）△競馬　大井

〝似ている〟はコワイ

△つい先日のこと、小岩の宿小岩小学校警備員、小林守吉さん（五二）の家で、小林さんの妻政子さん（四七）と、知合いの黒川嘉之助さん（七〇）が青酸カリ心中をした。七十爺さんと人妻の心中というので、当局でも、本社でもその原因を相当調べたのだが結局二人の間にはウワサのような醜関係はなかったらしい。しかし、両人とも死んでしまったのだし遺書もないため〝死人に口なし〟でホントの原因はつかめようもなく、政子さんの夫守吉さんも、心中すこし前まで一緒にいた長男も『まったくおかしい、なぜ心中なぞしたんだろう。嘉之助さんとは父と娘のような関係だった』といっている。嘉之助さんは、政子さんが西新井大師の土産物屋兼食堂に勤めていたころから知合った。嘉之助さんは戦争で娘を亡くしたが、その娘と政子さんが生写しに似ているというので親しくなり、ホントの父娘のようにつき合いたいと、嘉之助さんは以来しばしば出入りするようになったのだという。思えば政子さんは〝似ている〟というだけで知合いになり、ナゾの無理心中をさせられたワケだが、〝似ている〟ということと犯罪の関係は深いようだ。さきごろの、熊谷のバラバラ事件も、犯人古屋は裏切った恋人に〝似ている〟というので久子さんを行きずりに殺したのだし、やや旧聞ながら、プロ野球界のエースだった武末投手がダンサーに投手の生命ともいうべき手首をカミソリで斬られた事件も、もとはといえば、そのダンサーの亡夫と武末クンが〝似ている〟というので知合いになったのだ。コワイのは〝似ている〟ことであるという逆論も成り立ちそうだ。

△新宿のDという飲屋で、麻薬取締官と自称する男が、泥酔の上『おれは拳銃をもってるんだぜ』ときも得意気にピストルをテーブルの上に乗せ、女給に見せびらかせていた。ホンモノの取締官ではないと思いたいが、ニセモノとしてもおそろしいはなし。（寅）

飲食店の女将ら四名検挙

もぐり売春

調布署では一日までに調布市上布田町三四八飲食店『千草』経営者山田つよ子（三七）福島市常盤市湯本町字笹井一九飲食業加藤けさ子（三七）宮城県桃生郡川南町前谷木村農業染島なつ（六三）同村同阿部よしみ（三五）の四名を職安法違反容疑で検挙した。調べでは山田は調布市で飲食店を看板に女中に売春をさせていたが女が足らないため去る八月ごろから実妹の加藤や親類染島らに女中の斡旋方を頼み今までに五名の女を世話してもらい売春させかせぎを折半していたもの。

世紀の恋ご破算

マ王女結婚を断念・声明を発表

義務をすべてに優先

自分自身で選んだ道

【ロンドン三十一日発ロイター＝共同】マーガレット王女は三十一日クラレンス・ハウスで新聞記者団と会見、御自身の口からタウンゼント空軍大佐と結婚しない旨を発表された。マ王女は記者団にたいする声明の中で『私はピーター・タウンゼント大佐と結婚しないと決定したことを明らかにしたいと思います。この決定は私自身が一人で下したものです』と述べられた。

【写真はマ王女とタ大佐】

私の決意、大佐のお蔭　声明詳報

タ大佐と懇談後発表

【ロンドン三十一日発UP＝共同】タウンゼント大佐は三十一日英皇太后邸のクラレンス・ハウスにマーガレット王女を訪問、約二時間十五分後に同邸を辞去した。タウンゼント大佐がクラレンス・ハウスを去ると同時にロンドンの新聞記者が同邸に招集され、王女の結婚断念が発表された。

タ大佐　今週中に帰任

【ロンドン三十一日発UP＝共同】マーガレット王女との恋に敗れたタウンゼント大佐は今週中に任地のブリュッセルにもどることになった。大佐はベルギー駐在大使館付空軍武官の職にあるが、さる十月十三日から休暇をとってロンドンにきていたもの。休暇は七日に切れるので大佐はおそらく今週中に海峡をふたたび渡って再びブリュッセルに帰任することになるだろう。

王室、教会が強く反対

マーガレット王女はタウンゼント大佐との結婚断念の理由として教会と英連邦にたいする義務を指摘され、この決定は御自身の決意によるものであると強調されている。しかしタウンゼント大佐は過去において不貞を理由に妻を離婚した経歴の持主で、英国の教会は離婚者の再婚を禁じていることから、マ王女の結婚に強硬に反対、一方英王室もマ王女が平民のタウンゼント大佐と結婚されれば王位継承権を放棄せねばならず、またタウンゼント大佐の過去の経歴から二人の結婚に反対したと伝えられる。このようにマーガレット王女が教会と王室の反対から結婚を断念されたことは争えず、マ王女はかくて悲劇の王女となられたわけである。

二人で重ねた石塚

タ大佐の離婚後燃え上ったロマンス

【ロンドン三十一日発AP＝共同】マ王女と悲恋に終ったタウンゼント大佐はいまうち沈んでいる。

英国では石塚はある人のある出来ごと、結婚とかロマンスなどを記念するものである。この二人の石塚は三尺もの高さになった。一九五三年初夏、エリザベス女王の戴冠式直後にこの二人の恋物語が米国の新聞にすっぱぬかれた。英国の新聞の幾つかもこれを取りあげた。間もなくマーガレット王女はアフリカ訪問の旅に出られた。一方タウンゼントは王女とのウワサのためロンドンからブリュッセルに追われ、これをきいたマーガレット王女は部屋にひきこもり二日間も出て来なかった。

いま英国民の多数は悲恋のタウンゼント大佐に同情を寄せている。しかし王女との結婚について将来何をもたらすかの質問については頭をひねった。少くとも英国内では『困ったことだ』という点では一致しているところにこんどのロマンスの悲劇は秘められていたのだ。

石を一つ取った。タウンゼントが二つ目の石をその上に重ねた。その日から二人は丘にのぼれば必ずその石塚の石をふやしていった。

"似ている"はコワイ

△つい先日のこと、小岩の元小岩小学校警備員、小林守吉さん(五三)の家で、小林さんの妻政子さん(四六)と、知合いの黒川嘉之助さん(六〇)が青酸カリ心中をした。七十歳さんと人妻の心中というので、当局でも、本社でもその原因を相当調べたのだが結局二人の間にはウワサのような関係はなかったらしい。しかし両人とも死んでしまったのだし遺書もないため"死人に口なし"でホントの原因はつかめようもなく、政子さんの夫守吉さんも、心中すこし前まで一緒にいた長男も『まったく……』

ふろしき

秋の名残り

大菊、中菊、一文字菊など一面に咲きほこって、ふくいくの香りが深みゆく秋の名残りを告げるかのよう。きょう一日から新宿御苑の菊花が一般に公開された。午前中までに約三千人が入苑し菊の花壇は人垣をつくり遠足の子供たちも『菊がキレイに並んでいるなあ』と歓声をあげていた。なお十五日まで開かれる。

【写真は新宿御苑の菊花】

都宝くじ当選番号

◇1等（300万円）1組の147805
◇2等（100万円）4組の100606　4組の146472
◇3等（50万円）4組の117989　1組の158036　2組の178975
◇残念賞（5千円）1、2、3等の組ちがい同番号　166509
◇4等（30万円）1 3 6 0
◇5等（10万円）1 2 3 7 4 8　1 2 2 5 7 8　1 4
◇6等（1万円）下4桁　2146　9452
◇7等（1千円）下3桁　027　438
◇8等（百円）下2桁　70　77
◇9等（50円）下1桁　1　3　4

老人黒コゲ怪死　葛飾

一日午前四時ごろ葛飾区上平井町二五四セクリーニング商間中一雄さん(三七)方階下六畳間に病気で寝ていた父親勤二郎さん(六八)が布団の中で黒こげになっているのを二階に寝ていた一雄さん夫婦が発見、日高病院に収容したが同六時五十五分ごろ死亡した。調べでは老衰で一ぶきたバコを吸ったためからしい。なお死因に不審な点もあるので調べている。

一割五分の遊飲税が加算されても尚他店の半額です　喫茶アルサロ　明日では遅すぎる　銀座8・天国裏

昼夜営業・11時より11時　ビール180円　珈琲70円

の上『おれは拳銃をもってるんだぞ』とさも得意にピストルをテーブルの上に乗せ、女給に見せびらかせていた。ホンモノの拳銃ではないと思いたいが、ニセモノとしてもおそろしいはなし。（黄）

飲食店の女将ら四名検挙　もぐり売春

調布署では一日までに調布市上布田町三四八飲食店『千草』経営者山田つよ子(三八)福島市常盤市湯本町字笠井一九飲食業加藤げさ子(三六)宮城県柴生郡川崎町前谷木村農業染島なつ(六三)同村同阿部よしみ(三五)の四名を職安法違反容疑で検挙した。調べでは山田は調布市で飲食店を看板に女中に売春をさせていたが女が足らないため去る八月ごろから実妹の加藤や親類染島らに女中の斡旋方を頼み今までに五名の女を世話してもらい売春させ、かせぎを折半していたもの。

田町駅前の火事

一日朝七時二十分ごろ港区芝田町三の一八国電田町駅前マーケット内、村正パチンコ店（経営者安藤正雄）方カの二階から出火、同店と両隣りの中華料理店細川喜作さんと山中肉屋の鈴木源ざん方の木造モルタル二階建て計三むね三十坪を全半焼

あすのスポーツ

△国体　第四日（神奈川県下）△野球　駒対学習院（十一時半、神宮）△六大学戦（府中）△競馬　大井

○…これは笑えぬ狭き門への悲劇……一日午前零時半ごろ世田谷区代田二ノ六二一ツ橋大学四年生高田安蔵君(二三)が自宅で睡眠中死んでいるのを家人が発見、北沢署に届出た。同署で調べたところ高田君は某会社の入社試験を間近かにして徹夜の勉強がたたったものとわかった。

○…この他入社試験のことが気になって眠られず、同君はアドルムを飲んでおり量を間違って多くしたため悲劇をうんだ。枕元には入社試験問題集が置かれてあったのもあわれであり係官も暗い気持におそわれた。

◇お断り　連載マンガ『エム氏』本日紙面の都合により休載いたします。

立入り阻まれ話合い　砂川

測量隊　護衛なしで立往生

五番地区入口で地元民の包囲にあって阻止された測量隊員

【砂川発】米軍立川基地拡張にともなう都下砂川町の立入り調査は総理大臣の収用認定で新段階を迎え、一日、午前九時東京調達局秋山不動産副長指揮の測量隊および立会人の都外務室参事山田良太郎氏ら計二十三名は警官隊の護衛なしに五日市街道から砂川町に入った。これにたいし地元側はあくまで測量阻止の決意をかため、およそ百名がスクラムを組んで測量隊の侵入を阻み午前中の測量は不能となった。

測量隊は一時引揚げようとしたが山花、中村両社会党代議士、塩谷総評副議長らが仲に入り話し合いたいと迫った。しかし測量隊は上司と相談するといって同十一時二十五分立川事務所に引き揚げた。午後は同事務所に待機中の亀野局次長が現場に出張引続き両者の話し合いを続けている。

化学工場で爆発　志村

作業中の工員五名重傷

一日午前十一時半ごろ板橋区志村長後町一の一九東京合成化学志村工場（責任者石川勝雄氏）の薬品製造工場が突然爆発、同工場の屋根十坪を吹き飛ばし一部を焼いて同十一時四十分ごろ鎮火した。このため工員中野光徳さん(二五)は全身に火傷を負ってひん死の重傷、細利雄さん(三〇)佐藤昭さん(二七)江川徳太郎さん(三五)久保井俊夫さん(二)の五名はそれぞれ手足などに全治十日から二週間の火傷を負い近くの竹川病院に収容された。

志村署の調べでは同工場はビニールの漂白剤を製造している工場で同時刻ごろ漂白剤を製造中薬品のアセトンに引火、過酸化ベンゾールが爆発したもの。

中学生が団長　少年窃盗団ご用

浅草署では一日朝までに中学一年生を団長とし、小学五年生五人を団員とする目赤少年探偵団一味六名を窃盗の疑いで検挙、補導した。江東区深川新大橋一の五中学一年A(一三)同町三の一八小学五年B(一一)同町二の一一同C(一一)D(一一)E(一一)同常盤町同F(一一)の六名で、Aは本年夏ごろBらを手下に深川少年探偵団を組織、探偵本や学用品、オモチャ、小鳥などほしさに去る九月から浅草松屋を根城に窃盗を働いていたもので、二十九日午後四時ごろ松屋三階文房具売場からD、E、Fを見張りに立て、Aら三名が本を見るふりをして探偵本、鉛筆など六点六百円相当を盗んだほか、三十件約一万五千円を盗んでいた。少年らの家庭はいずれも中流以下で親は教育に関心がなく放任されていた。

密航資金欲しさ

更に不良三少年挙る　強盗の

さる二十八日杉並区阿佐ケ谷三の五二八会社員猪狩丈夫さん妻リツさん(三七)を脅して麻布署に自首した港区麻布新網町一日大三高一年生N(一七)を同署で調べていたが、共犯の北区上十条二京華高一年T(一七)同区中十条一日大三高一年S(一七)豊島区高松町一日大三高一年M(一七)の三少年を一日までに検挙。調べでは四少年は『ハワイへ密航するための密航資金欲しさに強盗を働こうとした』と自供した。四名はいずれも良家の次男、三男でハワイへ密航して一旗あげようと共謀、強盗するには家の家がよいと日ごろ学校の往き帰りに目星をつけた猪狩丈夫さん宅を狙い家宅と間違えて押入ろうとしたもので、MとTは見張、SとNが玄関の呼鈴を押して『主人に頼まれて来た』と欺して侵入したが妻リツさんに騒がれたのでNがリツさんに飛び出しナイフで全治二週間の傷を負わせて逃走した。四名は札つきの不良で『家の家は主人がいるのは夜だろう、昼のうちに狙ってやろう』と計画をたてていた。

共同通信十周年記念式

社団法人共同通信社（専務理事松方三郎氏）の創立十周年記念式典が一日午前九時から千代田区日比谷市政会館内同社編集局で行われた。

チャイナ・タウン⑧　ミナト・ヨコハマ　Yライン

文　北林透馬　え　森　比呂志

マンボにもって来い

小説に数々の好材料

中国人諸君は『中華街』というが、ヨコハマの人間は昔から『南京町』と呼んでいる。事実この町には北方系の中国人は少く、広東出身の南方中国人が大部分で、殊に国民政府は南京にあったんだから、『南京政府支持者の街』という意味で、ハッキリ『南京町』の名を復活させたほうが好いんじゃないか。と、これはまあ僕だけの考えだが。

『中華料理』なんて言葉もアイマイでいかん。ちゃんと『広東料理』とか『北京料理』とか『四川料理』とか『台湾料理』とかハッキリ責任をもって謳いたいと思うんだが、この街で『中華料理』の看板を出しているうちがあるんだから恐れいる。

もっとも、お客のほうも、満州の庶民的家庭食物たる『餃子』なんてシロモノを、堂々と『広東料理』を看板にしている一流料理屋へ来て注文するバカもあるそうだから、仕方がないかも知れないが。それなら、北京も広東も区別のつかない日本人がまして、この料理屋がどんなに美味いものを食わしても無駄みたいなものかも知れないが、東京の『中華料理』が繁昌するほどにはハマの『広東料理』が景気の好くないことは事実のようだ。

景気の好いのはハマとキャバレー。むろん、お客はアチラさんばかりで『チャイナ・タウン』といえば、これらのバアとキャバレーのエリヤを意味する。ハワイ料理とフラダンスで売出した『ハワイヤン・ルーム』も、思ったほどはハワイ趣味が受けなかったらしく、近ごろは『スポーツ』と名をかえて普通のキャバレーになってしまったのは惜しい。

一階にスード・スタジオのある『アルサ・ガーデニア』ジェラルミン張りの『ゴールド・スター』以下約三百軒のバアがあって、日曜ともなれば、切っぱしから兵隊を相手に派手にやっとる。

むかしむかし（どうも昔の話をしたがるのはトシヨリの悪いクセですな）このチャイナ・タウンには『インターナショナル』というキャバレーがあった。焼けた中国領事館の前のところで、チョコ生れの赤くミアンの夫婦がやっていたところ。オールド・ボーイならご存じだろう。マルーシャという美人がいましてね。大仏先生が幾度も小説のモデルに使った。今は小生の古い友達の奥さんになって、すっかりふとってしまった——いや何も大仏先生を引合いに出すことはない。小生も、だいぶここで原稿料を稼がして貰ったし、北村の小松チャンも二三度用いとる。

何しろ酒場でダンスを踊っちゃいかん、という馬鹿々々しい規則のあった頃で、（だいたい規則なんてものはみんな馬鹿馬鹿しいにきまっとるが）飲んで踊るにはチャンキンマチまで来るより仕方がなかったし、クリスマスなんぞには、マダムがハンガリヤ風にドレスアップして踊ってみせたりしてくれて、いや楽しいもんでしたな。

前の角にあった『ニュウルワイス』というのは、亡くなった新居格先生ごひいきのキスリング親子の店で、これもみんなが小説に用いましたね。

まあ、とても『小説』になるような、シャれた雰囲気はないが、マンボ・スタイルのオンナのコをつかまえて、ドタバタやるには、今のチャイナ・タウンは実にピッタリしていることは事実である。

続 情炎の千代田城

岩崎栄
寺本忠雄画
(286)

あらすじ ◆六代将軍徳川家宣の時代、千代田城内の暗鬩はますます激しくなった。世継ぎをめぐって正妻、側室が対立し、これに幕閣の諸大名が連なっているから大変である◆時の勘定奉行荻原重秀は幕府の窮乏を救う口実のもとに良貨を改鋳して私腹を肥した。これを大奥の大老格絵島が見破り、新井白石と組んで重秀を弾劾した◆重秀は将軍直裁の結果切腹を申付けられたが、その助けを絵島に求めた。絵島が荻原邸の用人長井半六と密通しているのを知っていたからであった◆絵島は自分の立場の恐しさを知り後悔したが、一度飲んだ恋のうま酒が忘れられず懊悩していると、そこへ宮地が若君虎吉の容態急変を告げに来た。

春寒く（七）

将軍はもう、自分が、半分死んだようになって、夢中で、ソワソワ、ウロウロしていると宮地は面白そうに告げる。

絵島は深刻な表情を俯けて、いつまでも黙っている。

愛児の瀕死を目前にして、神気てんとう、心ここにあらざる将軍には、とても会うことなど出来はすまいし、たとえ会えたにしてからが、政治向きの話などいいなせもせず、受けつけてもくれまい。まして、荻原重秀のとりなしなどもってのほかだろう。

わるいとき、わるい条件が意地わるくもかち合わせたものだ。

『もし、どうかなされましたか』

宮地は呆れたような眼つきで覗き込む。虎吉様の急病。この報告を耳にしたら、踊り上って喜ぶはずと、自分の心を尺度にして、絵島の沈痛な表情をいぶかり、なじって来るのだった。

それでもまだ、暫くの間考え耽っていた絵島が、しずかに面を起し、きっとした調子で、

『これから、あちら様へお見舞にうかがってまいります』

『おゝそれ、それ。どうかしっかり見届けておいでくだされませ。もうお亡くなりか、それともまだお脈があるのかを』

『宮地さまっ』

意外に、ピシリとした声で、

『上様御寵愛のお子さまでございますぞ！』

『へ？』

『美登利をお呼び願います』

『は、はい』

宮地がしきりと、首をひねりながら引き退がって行くと、絵島は奥の部屋から何か、ウコンの風呂敷に包み込んだ箱のようなものを片手にして戻った。

『お召しにございましたか』

忍び姿から、すっかり腰元のあでやかさに変った美登利が来て手をつかえた。

『ついて来てたもれ。右近のお方様へ、お見舞じゃ』

かしこまった美登利を従え、寒灯の凍りついたような、長い廊下を幾曲りして、右近の部屋近く来ると、あたりの空気が、なんとなく不安な静寂に引きしまっているのを感じた。

『お三のお部屋様より、絵島、若君様御見舞に参じましてござります』

取次ぎに申し入れた。

『しばらくそれにて……』

待っていると、取次ぎの者でなく、いきなりそこへ初音が現われた。奥へも客間へも通さず、控の間であしらうつもりらしい。

座るといきなり、挨拶も受けず、

『取り込んで居ります。御用向きは』

初音は頭からの喧嘩構えだ。しかし絵島は冷静に、

『わたくしこと、外出先よりただいま帰参。思いも寄りませぬ御容態とうけたまわり、驚愕いたしましてござります。して、お三のお部屋様の御名代と致しまして、とりあえずお見舞にあがりましてござりますが……』

『おそれ入りましてござります。なにとぞお三のお部屋様に、よろしくお伝え願います』

『あの、お見舞にまいりましたのでござりますが……』

『わかって居ります。おそれ入りましたと申したではござりませぬか』

『お目通りはおゆるしござりませぬか』

『一さいなりませぬ。お医師のいいつけにござります』

『お医師は、どのようなお見立にござりまするか』

『御発病に、合点のゆかぬ怪しいふしがあると申されて居りまするぞ！』

憎悪に、突き刺すような初音の調子だった。

歌舞伎漫語　北京公演のこと

市川松蔦

こんどの公演の旅で、いちばん強く感じたのは日本の国の良さということです。また、北京の夕景色の美しさもたいへん印象的でした。それ以上に感動したのは、僕たちの歌舞伎を向うの人たちが、思っていた以上の熱心さで迎えて下さったことです。

初公演の幕が開く直前まで、はたしてどの程度まで観てくれるかと僕は不安でいっぱいでした。ところが、そんな心配を裏切ってアンコールの連続だったことは意外でもあり、嬉しさで胸のふさがる気持でした。いい場面にくると、場内にあふれた観客は一斉に『好（ハオ）好！』と声をはりあげて喝采を浴びせるのです。アンコールは多い時で五、六回も続き、少ない時でも三回はありました。その拍手の音が、まるでトタン屋根にはげしく夕立が叩きつけるように、ザーッと聞こえてくるのです。聞きながら僕は思わず、涙をポトポト落していました。

向うの人たちが不思議がっていたのは踊りの後見で、『勧進帳』の時など、カミシモをつけた後見が、登場人物か陰の人なのか判らないといっていました。『引抜き』なんかも珍らしがっていました。とにかく僕たちの先輩が創った歌舞伎が、このようにして外国の人たちに観てもらえたことは、感激で言葉もありません。また僕たちが『日本歌舞伎劇団』のマークをつけて歩いていると、街の人が道をよけてくれたりするので、なんだか、お大名になったような気持でした。

最後に嬉しかったのは、京劇の立役の白家麟（ハクカレン）さんと女形の関世善（ケイセイゼン）さんが、一心に日本の踊りを覚えようと公演後も僕たちについてきたことです。僕は関さんに『道成寺』を手ほどきしましたが、いつの間にか恋というものを覚えて…という歌の意味を通訳をとおして呑みこんでもらってから、三味線に合わせ『イー、アル、サン』と号令かけたりしながら一生懸命でした。

【写真は北京・紫金城でたたずむ市川松蔦】

☆　☆

三代目 延若を襲名　延二郎が来春早々実現か

実川延二郎

昭和二十六年二月七十五才で他界した関西歌舞伎界の大御所二世実川延若の嫡子二代目延二郎が三代目延若を襲名することがほぼ決定的となった。延二郎は昭和二年一月大阪浪華座の『禿』で初舞台をふみ、九年三月十四才で大阪歌舞伎座で『寿生立曽我』の十郎祐成で二代目延二郎を継いだが、立役、女形、それに踊りにもたけた万能役者である。当り役は『野崎村』のお光だが『獄門帳』の京吉、最近では新作の『高野聖』の富山薬売りなどに巧味を発揮している。延二郎は歌舞伎座の十一月興行に出演のため東上中であるが、右についてつぎの如く語った。

わたしが三代目延若を襲名するなんて、まだ年も若いし早いとは思うのですが、皆さんが熱心にすすめて下さるので迷っているところです。今度正式にお話があったのは急で、二十六日白井信太郎さんから明後年の七周忌まで待たず、是非来年の一月か二月に襲名したらどうかといわれ、今度上京してからも高橋常務さんが『もう襲名したほうが良くはないか』といって下さいました。襲名の話はいまに始まったことでなく、父延若が二十六年二月に亡くなったその翌年、一周忌のときに第一回の話が持上り、続いて三周忌のときもその話が出ましたが若年でもあり芸も未熟ですし、名前ばかり大きくても舞台がなってないといわれるのが一番困りますから、そのたび毎に辞退してきたわけです。しかしあまり頑固にしてもこういうことは汐時というものがありますから熱心におすすめ下さるときにお受けせねば、という気持ちもあります。それに関西歌舞伎界が長い間ゴタゴタしたので、パッと明るい話題を景気直しに出そうという意図も松竹にあると思われるので、私としてももうお受けする時期ではないかと考えているところです。

映画やぶにらみ　森繁と山田が好演『人生とんぼ返り』（日活）

▽…思わず眼頭の熱くなるシーンがしばしばである。字一つ読めず殺陣（たて）をつけることに一生をかけた男、それでいて底抜けにお人好しでもある彼と、髪結いをしながら生活をきり回している勝気な妻との、ホノボノとした愛情の交流が、素朴な心良い感動となって胸元につきあげて来るのだ。新国劇にあの独特な殺陣をつけた実在の男、殺陣師段平（森繁久弥）の半生を描いた物語である。原作長谷川幸延、脚色・演出マキノ雅弘。

【写真はその一場面、森繁と山田】

▽…マキノ監督としては近ごろでは最も傑出した出来ばえ。トントントンと調子良く運びながら大変力のこもった作品で、特に病みやつれた妻（山田五十鈴）の大写しから一座の巡業へ話の移るあたりのカットの鋭さは、唸りたくなるほどの哀感がにじみ出す。森繁と山田がこれまた実に快調で、明るさと哀れさと淡さをないまぜた二人のからみは、全く安心してみていられる〝大人の芝居〟といった感じ。特に『夫婦善哉』に続く森繁の好演は賞讃に値しよう。段平の隠し子になる左幸子もよい。とにかく、大衆的なツボを全くよく心得たマキノ監督の手腕に驚かされた。あまりホロッとさせ過ぎては悪い（？）と思ってか、ラストに、ご愛敬シーンをつけたりしているのも悪フザケに堕してはいない。（静）

新宿キャバレー　さくらめんと

東映『花は燃えている』を映画化　ニッポン放送の連続放送劇『花は燃えている』（原作大林清）はこのほど東映で映画化を決定、高千穂ひづる、船山汎の顔合せで製作する。

新人山脈　大高沙子　豆歌手

暫くご無沙汰していた豆歌手の登場である。テイチクの作詞家大高ひさをの長女で当年十才。去年の秋頃から童謡をうたい出し、すでに六曲レコードに吹込んでいる。歌いだしたのは『江の島悲歌』など数々のヒットを作り出してテイチクの〝愛徳寺プロダクション〟といわれる大高氏宅に、専属の歌手連がたえず多勢出入りするところからの門前小僧式におぼえたものだが、いわゆる物真似でないクセのない歌い方だ。十二月にはデビュー盤として田端義夫とコンビで吹込んだ『鯛太郎凧』『リオの街角』が出る。オヤジに似て器用でもう五線譜の上にオタマジャクシを並べたてるので『末恐しいぜ』などといわれているが、同社には白鳥みづえが控えており、この後を追ってどこまで息が続くか、ここ当分本人より親の方が真剣である。

私のコレクション ㉖　湯呑み茶碗

坂東八十助（歌舞伎俳優）

子供の頃からの病みつき　陶器の〝熊〟が夫妻のマスコット

（明）朗でスポーツ好きで元気いっぱいな菊五郎劇団若手のなかでも、八十助はひときわ目立つ存在だ。『太刀盗人』などにみられる踊りの巧さ、『団七』や『狐忠信』などにあふれる躍動感、六代目に叩かれて修業しただけに、トンボを切らせても本職の八重之助名人が折紙つける腕前ときている。おまけに、野球、水泳なんでもござれの万能選手だ。その彼が、お茶碗のコレクションなどという当今の〝二十代〟には珍らしい趣味を持っているのは面白い。それも、変テツのない〝湯のみ〟ときているんだから、気どりがなくて親しめようというものだ。

だが、一見なんの奇もないこの趣味にも、けっこう年期がはいっている。―『子供のじぶんから、好きなんですよ。見ていると、しみじみとした気持になれるようで、なんていうか非常に愛着心がありましてね』と彼は、人なつっこそうな笑顔でいう。『独身時代松緑兄さんの家に九年も世話になっていましたが、棚へズラーッと並べて置くものだから、掃除をするとき危なっかしくて困ると、ちょいちょいお小言をくいました。でも、洋風のもんじゃないからいいでしょうってがんばっちゃった』―だから、この三月、坂東鶴之助の長女喜子（ノブコ）さんと結ばれて新居へ移るときも『この茶碗だけは特別げん重に包んで自分で運びましたよ』とニッコリ。

（い）つも使っているもののほかに、洋服箱六つか七つにギッシリ詰めてあるのだから相当な数だ。『これで、買ったのと貰ってきたのと半々ぐらいかな。いつだったか京都でね、ウィンドウに〝九谷〟の薬焼きでいいのがあったんです。売ってくれといったら、これは一つしかないから駄目だというんで、三十分ばかり押し問答しましたが、因業オヤジで、とうとう駄目でした。……それからね、お茶屋へ行った時など、気に入ったのがあると持ってきちゃうんですよ』と、いたずらっぽい目をする『欲しいんだけど、と断わって持ってくるのと、だまって堂々と持ってきちゃうのと……。まァ茶碗ですからね。でも、だんだん病みつきになっちゃって』と首をすくめる。

（い）ま使っているのは、結婚祝いに贈られたシュールの竹の葉みたいな模様のと、それより濃い紺色の古木の梅の模様のもの、それから好きなのは薄い土色の地に青と朱で東山を描いたもの、他にもまだ沢山並んでいる。それを眺めながら『これから千年も経ったら値がでるでしょうね』と、くったくのない顔をする『とにかく茶碗だけじゃなく陶器類は好きです。この小さな瀬戸物のクマも九年前に買ったんですけど……旅へ行く時は必ず持っていって、落着くとすぐ部屋の机の上にのせて置くんです。もう一匹のは家内が持っています』と顔見合せてまた微笑する。茶碗の並んだ戸棚の上にポスト型の貯金箱が七、八本、いかにも新居にふさわしくちょこなんと置いてあるのもいい風景だ。

新宿フランス座、メンバーを再編成

浅草フランス座のストリップ再登場に伴い、新宿フランス座もメンバーを再編成することとなり、こんどは日舞ストリップを大幅に減らして洋舞ストリップに重点を置くことになった。そのため従来の日舞ストリッパーのうち残るものは大林喜久代、中島千恵子の二名のみで藤アリサ、神代香代子、葉山るり子、児井しのぶの四名は浅草ロック座に、河井洋子は浅草フランス座にそれぞれ近日中には移籍される模様。なお同座の洋舞ストリッパーの花形だったジェニー丘、藤浦かほるの二名はすでに退座して銀座の某クラブ専属チームに入っている。

おしゃべり横丁　総天然色映画時代　女房が派手な着物をほしがってこまるよ。―亭主

寄席上席

◇上野鈴本＝（昼）喜代太夫、亀松、円太郎、馬の助、馬生、百生、千太・万吉、鯉香、志ん生（夜）三平、馬楽、小円朝、円蔵、さん馬、正蔵、龍光、貞山、柳枝、孫三郎、かつ江、円歌、円生。◇新宿末広＝（昼）助六、小柳枝、米丸、円馬、雛太郎、柳橋、山野一郎、ぴん助・美代鶴、桃太郎、シャンバロー（夜）紋也、円右、遊三、牧野周一、円遊、猫八、痴楽、正楽、山陽、可楽、孫三郎、小文治、ひろし・まり、今輔。◇人形町末広＝若楽、富士松、雪雄、つばめ、馬風、かつ江、さん馬、千太・万吉、文楽、染の助、染太郎、円生、正蔵、柳枝、龍光、円歌。◇池袋演芸場＝（昼）桃輔、伸治、小柳枝、枝雀、柳昇（夜）小円馬、司郎・喜世美、可楽、山野一郎、彰香・雪恵、円馬、痴楽、柳橋。◇川崎演芸場＝小柳、玉遊、シャンバロー、夢楽、ひろし・まり、今輔、金太郎、牧野周一、桃太郎、ぴん助・美代鶴、円遊。

東宝名人会　一日からの第十回東宝名人会（東宝演芸場）の出演者は次の通り▽体技（玉章、茶目）▽落語（米丸）▽俗曲（滝の家鯉香）▽落語（円蔵）▽落語（志ん生）▽落語（痴楽）▽歌謡漫談（シャンバロー）▽落語（文楽）▽東宝娯楽版（道郎、和助、エリック）

都々逸名選

今月の選は石井きんざ氏が担当いたします。

石井きんざ選

爪弾きの思えば永い旅から旅を　すっかり変った身の回り　木場・積谷三十越

三日坊主にならない訳は　添える目当が出来たから　千住・志のぶ

少し回ったお酒の酔いへ　借りたいあなたの膝枕　長岡・鈴木六可仙

はと笛

▽…大映から日活に移って『沙羅の花の峠』に主演した南田洋子は続いて『母のない子』『顔役』と掛け持ち出演して、連日ロケにセットに休むひまもない状態だが、その上市山流の家元松翁直伝で市山松洋という日本舞踊の名取りにまでなる始末。

▽…そこで来る十一月六日には東横ホールで発表会を催すことになったが、さあこうなると一分でも二分でも時間が惜しくなるといった具合で、仕事が終って家に帰ると早速踊りの稽古をやっている。お陰で気にしていたアンヨの太さがこのところグーンとスンナリしてきたというが、日本舞踊が女性にはボディ・ビルの代用になるとは…知らなんだ、知らなんだ。

【写真は南田洋子】

今晩のラジオ　1日（火）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 子供のシンブン◇ちえのポスト 三鈴恵以子他 25 オテナの塔 堀越節子他	05 英語会話 松本亨 30 受信機講座 高草木要作 40 やさしい科学 蓮見重康	10 東西こぼれ話 高野アナ 15 コンサート 南十字星 25 トニー・ショウ トニー谷	00 劇『少年宮本武蔵』 10 劇『平将門』高橋昌也他 25 LPヒット・パレード	00 ポツポちゃん物語 15 歌 榎本美佐江他 30 歌 井口小夜子 津村謙
7	00 ニュース◇天気予報 30 民謡お国めぐり 唄小枚菊江 小川好枝他	00 名曲鑑賞❶死の舞踏❷ポロネーズ（リスト作曲） 30 明日の農民 中田正一他	10 録音ニュース 20 歌うオルガン 松沢宏 30 落語『三味線栗毛』円歌	00 録音ニュース 10 君の歌僕の歌 小畑実他 30 漫才クイズ『弥次喜多』	30 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ歌玉木正治 30 歌謡クイズ 久保田勝
8	15 バラエティ『いとはん三代』長沖一作 花菱アチャコ 横山エンタツ 伴淳三郎 浪花千栄子他	00 ニュース 05 座談会『政治と文化』川島武宜 石上良平 和歌森太郎 戒能通孝他	00 剣に生きる人々『五郎正宗』東野英治郎他 30 歌の風車 林伊佐緒 白鳥みづえ 大津美子他	00 家庭音楽会 司会浅倉アナ 三味線豊吉他 30 連続講談『徳川家康』第七十五回 宝井馬琴	00 今週の花嫁花婿 山田真二 野添ひとみ他 30 演芸バラエティ『水戸黄門漫遊記』内海突破他
9	00 ニュース解説 平沢和重 15 放送小咄会 柳枝 正楽 円蔵 痴楽 枝太郎他 45 四カ国外相会議を巡つて	00 新劇合同放送劇『天と地の間』ルードヴイツヒ原作 芥川比呂志 小沢栄 丹阿弥谷津子 宇野重吉	10 浪曲大狗道場 前田勝之助 相模太郎 池谷アナ 40 劇『ホガラカさん』野添ひとみ 轟夕起子他	00 歌うバースデイプレゼント ゲスト轟夕起子 30 ❶漫才 天才・秀才❷落語『マタイデン』今輔	00 わたしの選曲 関弘子 ナポリのセレナーデ他 30 劇『吉野仏』香川京子 奈良岡朋子他
10	15 劇『源義経』岩井半四郎 市川段四郎 山内雅人他 40 箏と三弦 中島欣一他	00 高等学校講座❶国語 鳥山榛名❷解析 山崎三郎 45 気象通報	05 今日のニュース（読売） 15 劇『人情馬鹿物語』 30 バルトークの『喜遊曲』	00 大学受験実力養成講座 和文英訳 JBハリス 30 解析（Ⅰ）田島一郎	00 劇『南無三宝』 15 歌 小畑実 織井茂子 35 映画主題歌集 高田浩吉
11	10 ヨーロッパの大学 20 随筆 江口榛一作	00 経済の時間◇ニュース 20 医学の時間 小林龍男	10 劇『サイパンから来た列車』大森義夫 大木民夫	00 秋の夜話『狩猟シーズンきたる』◇欧州のしらべ	00 スポーツ・カレンダー 15 三味線の手ほどき

テレビ　★NHK★ ◆5・00 東宝劇場から文士劇中継❶車引❷屋上の狂人❸め組の喧嘩◆7・10 歌劇『ききみみずきん』団伊玖磨作曲 渡辺高之助他（日比谷公会堂から）◆8・30 東京のおばさん　★NTV★ ◆6・00 海のサブー◆6・20 猛獣映画『虎』◆6・30 映画『人生とんぼ返り』から◆7・30 劇『ああ無情』◆8・00 ボクシング実況『沢田対赤沼』◆9・30 家庭グラフ　★KR★ ◆6・00 映画『水と人間』他◆6・35 サザエさん◆7・00 お笑いゲーム◆7・30 中国見本市◆7・40 映画◆8・10 民謡お国ぶり≪房州≫◆8・40『天保水滸伝』玉川勝太郎